

「CO₂ゼロ旅行[®]」はJTBの登録商標です

旅行中に排出するCO₂をゼロに！

JTBは旅行を“サステナブル”に進化させます！

旅をしながら地球をまもろう

CO₂ゼロ旅行[®]

未来のために 少しでも美しい地球を残したい。

私たちJTBは、そう願っています。

地球環境の負荷を軽減する取り組みを、いま、始めませんか。



関連するSDGs目標

2025年2月25日改訂

copyright © JTB Corp. all rights reserved.

(写真提供: AdobeStock)



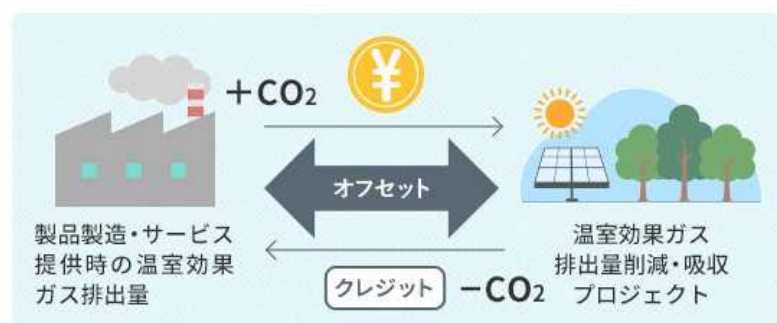


CO₂ゼロ旅行®は、カーボンオフセット(※)の仕組みを利用した旅行商品です。

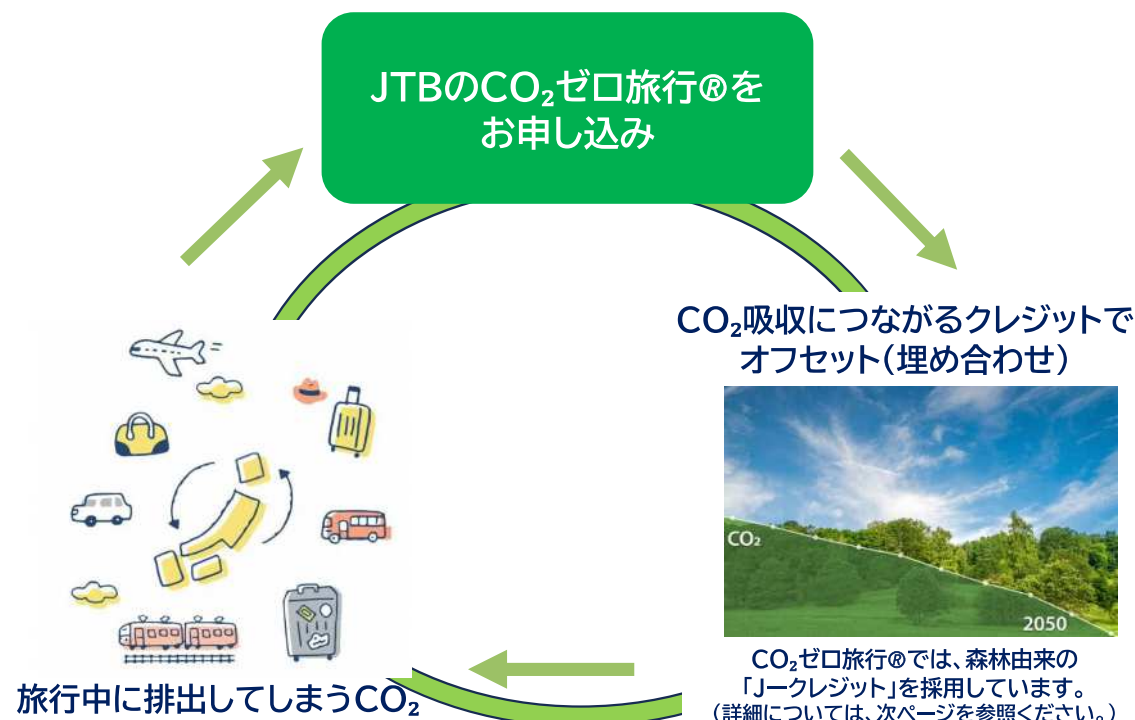
※カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができないCO₂等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせするという考え方です。

カーボンオフセットする仕組み

- ✓ 旅行代金に一部、費用を上乗せ
- ✓ その費用で「J-クレジット」を購入
- ✓ 間接的に旅行中に排出するCO₂を打ち消すことができる



(参考: 環境省「カーボンオフセットガイドライン」)



CO₂ゼロ旅行®では、森林由来の「J-クレジット」を採用しています。(詳細については、次ページを参照ください。)



「J-クレジット」について



「J-クレジット」とは

J-クレジット制度とは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。
この制度は国により運営されています。



「J-クレジット制度」活用のメリット

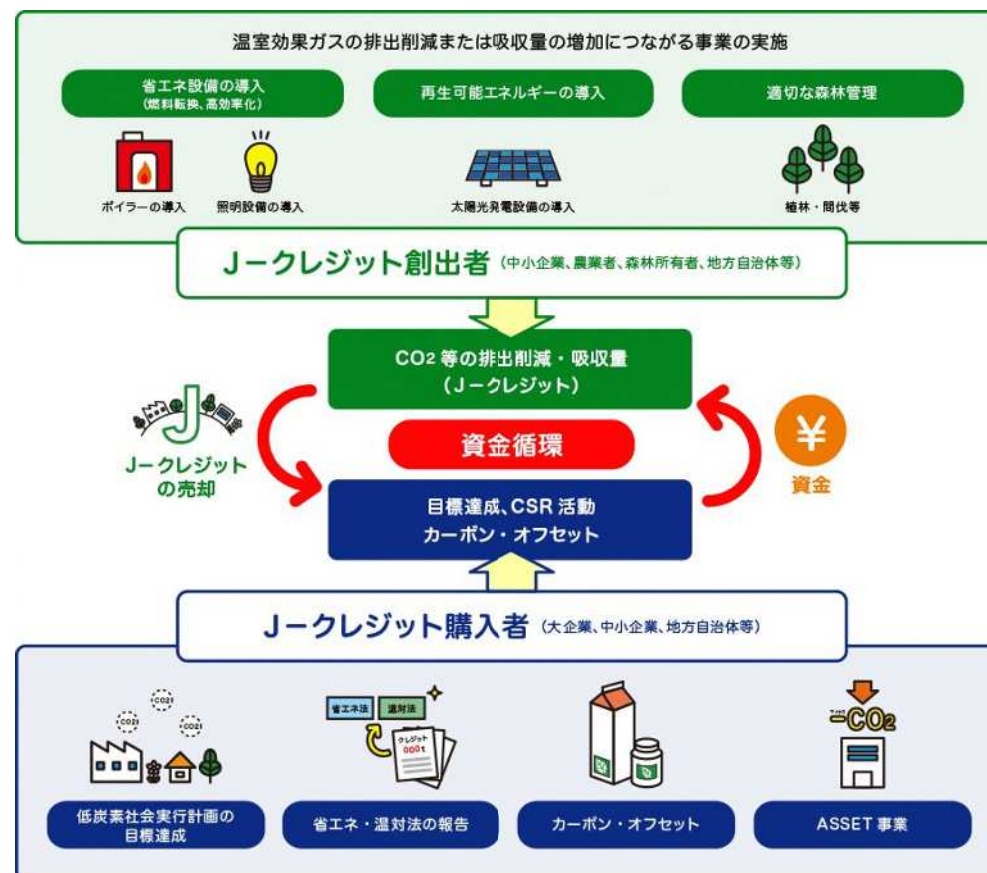
SDGs
への取り組み

ISO14068-1
への取り組み

CSR活動における
環境配慮
への取り組み

GHGプロトコル
に準拠した
取り組み

SHK制度に基づ
いた情報開示へ
の取り組み



※SBTには準拠しておらず、報告には使用できませんのでご了承ください

(SBTでは、再生電力や再生熱由来のJ-クレジットを再生調達量として報告することができますが、CO₂ゼロ旅行®によるクレジットは報告にご利用いただけません)

(出典: J-クレジット制度ホームページ <https://japancredit.go.jp/>)



「Jークレジット」プランについて



「Jークレジット」の「由来」について

「Jークレジット」には、CO₂除去・削減等に資するさまざまな方法でのクレジットが用意されていますが、JTBの「CO₂ゼロ旅行[®]」では、“森林由来”（下記参照）のJークレジットを活用しております。

森林由来クレジットとは？

森林由来クレジットとは、間伐などの森林の適切な管理を行うことによるCO₂吸収量をクレジットとして国が認証したものです。

森林の適切な管理（施業）を継続的に行うことには経済的な負担が伴うため、施業により生まれたクレジットを購入することで、さらなる施業を促すことにつながります。

つまり…

企業がCSR活動などをPRする際、旅行を通じて温室効果ガスを排出してしまう代わりに、「森林の保全の取組等を支援している」ということを伝えることができます！

ISO規格（14068-1）では、カーボンニュートラルの経路をEarlyとLaterの2つのフェーズにわけており、
「Earlyではクレジットの種類を問わず活用可能だが、Laterでは除去系クレジット（森林由来等）によりオフセット可能」と位置づけています。

削減系クレジット
(再エネ由来等)

除去系クレジット
(森林由来等)

~~削減系クレジット~~
(再エネ由来等)

除去系クレジット
(森林由来等)

Early phase

計画にしたがって排出削減・除去を実施しているものの、削減できていない排出量が残っており、その排出量をクレジット（種類を問わない）を用いてオフセットする段階。

Later phase

排出削減・除去によって、どうしても削減できない排出量だけが残っており、その排出量を**除去系クレジットを用いてオフセットする段階**（オフセットせず、自助努力のみで達成している場合も含む）

「J-クレジット」プランについて

「CO₂ゼロ旅行[®]」はJTBの登録商標です



お申込にあたって必要な情報

必要な情報はこれだけ！

参加人数



泊数

施設情報



移動方法



移動距離



宿泊部分の計算方法

宿泊で発生したCO₂については、ひとり1泊あたり、約15kgのCO₂※をオフセットする「100%オフセットプラン」のみとなります。

(50%、30%、10%プランはありません)

※環境庁排出原単位データベースを元に、JTB総販の平均入室人員を使用し算出しています。

移動部分の計算方法

移動で発生したCO₂については、オフセットの量により、4プランからご選択いただけます。

CO₂ゼロプラン
||
100%オフセット

50%オフセット

30%オフセット

10%オフセット



「J-クレジット」プランについて

《無効化通知書》

※購入したクレジットが無効化されたことを証明する公的な証明書

SAMPLE

株式会社JTBコミュニケーションデザイン 殿
(口座番号: JP-100-20000-000001-00 -00)

12410280012
2024年10月23日

J-クレジット制度管理者

無効化通知書

J-クレジット制度実施要綱3、2に基づく無効化申請の結果として、下記のとおり、J-クレジット登録簿システムに処理したので、お知らせします。

記

トランザクション番号 JP-20000-00000-XXXX

口座種別 J-クレジット用 無効化口座

口座番号 JP-100-20000-00000-00 00-00

処理日 2024年10月25日

クレジット情報

項目	種別	クレジット特定番号		数量 (t-CO ₂)					
		省エネルギー量 (kI: 原油換算)	再エネルギー量 (電力: kWh)	再エネルギー量 (熱: GJ)	化石エネルギー量 (電力: kWh)	化石エネルギー量 (熱: GJ)			
1	PM	1025301:九州電力社有林 CO ₂ 吸収プロジェクト JCL-400-000-008-372-XXXX~ JCL-400-000-008-372-XXXX		-	-	-	-	-	-
合計		-	-	-	-	-	-	-	-

以上

＜用途＞
その他

＜クレジット利用法人・実績報告年度・利用期間＞
MM大学 ●●研究室 研修旅行

今年度実績の報告
2024/9/23~9/25

＜目的詳細＞
2024/9/23~9/27 熱海XXホテル 宿泊
2024/9/23~9/25 熱海XXホテル 宿泊

「無効化」とは？

●クレジットの無効化とは、オフセット・クレジットの所有者から購入者の無効化口座への移転が完了したことを指します。これにより、当該クレジットが二重に使われることなく、記載されたCO₂量が削減されたことを証明できることとなります。

「無効化通知書」の活用方

- 無効化通知書をホームページ等に掲載することにより、「CO₂削減に取り組む企業」としての新たなファン創出、ブランド価値向上
- ESG対策＝ファイナンス評価向上
- SDGsへの積極的な取り組みとして社内へのアピール、社員の行動変容促進 等

口座保有事業者名

※無効化手続きをおこなう「株式会社JTBコミュニケーションデザイン」の名前が入ります。

購入された森林由来のプロジェクト名

※例) ●●町の町有林における森林経営活動

オフセット量 (トン-CO₂)

※オフセットされたCO₂量がトン単位で表記されます。

用途

※使用用途: CO₂ゼロ旅行では「その他」と記載されます。

クレジット利用法人・実績報告年度・利用期間

※購入されたお客様のお名前と報告年度、旅行期間が記載されます。

目的詳細

※宿泊された施設名等が記載されます。

他企業との 差別化

環境対策やSDG s の取り組みを支援「CO2ゼロMICE®」

CO2ゼロMICE®とは

イベントを実施する際に、会場で使用される電気を再生可能エネルギーに置き換えることで、CO2を実質0にできるサービスです。再生可能エネルギーの調達、実際に使用されたエネルギーが再生可能エネルギーの環境価値（※1）としてどれほどなのかを算出し、事後検証などを含めてパッケージにした商品です。

（※1）再生可能エネルギーの利用によってもたらされる電気エネルギー以外の付加価値のこと



> こんな効果が期待できます

- SDG s やISO14001への取り組みによる企業評価向上
- 企業ブランド価値向上により、CO2削減に取り組む企業として新たなファン創出
- ESG対策として利用することでファイナンス評価向上
- 株主総会や顧客向けイベントで利用することにより顧客満足度・企業評価向上
- SDG s への積極的な取り組みによるインナーブランディング向上
- 東京都総量削減義務や温対法などの義務に貢献

概算料金：60,000円
※3日間×7時間のご利用

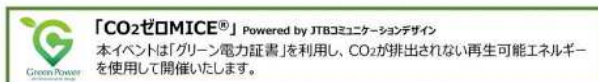
> 特徴

- 「再エネ」でイベントを開催する旨の告知ができます。
※イベントページへの掲載やリリースが可能です。
- 再生可能エネルギー使用の証書をお渡しいたします。
※証書は社内外へのSDG sをはじめ、環境保全への取り組み活動報告として告知可能です。
- 東京都削減義務や温対法などにもご利用可能です。
- 当日、日本調理機様のブースは「グリーン電力証書」を利用しCO2が排出されていない再生可能エネルギーを利用しているとアピールができます。

他企業との 差別化

環境対策やSDG s の取り組みを支援「CO₂ゼロMICE®」

① イベントホームページや配布資料などに掲載（事務局へお申込書提出後使用可能です）



② イベント当日スクリーンなどに投影



③ グリーンパワーマーク
JCDのオリジナルマークです。

※使用する場合はJCD Green Power
マークガイドラインの最終ページにある同意
書の提出が必要です。



④ 動画

1分Ver、5分Verをご用意。
お客様への説明の他、イベント冒頭で
放映すると効果的です。



日本調理機様 例

第25回厨房設備機器展に出展いたします。

日本調理機株式会社は、2月4日(火)~7日(金) 東京ビッグサイトで開催される「第25回厨房設備機器展」に出展いたします。

開催期間
2025年2月4日(火)~7日(金)

会場
東京ビッグサイト東1ホール

弊社ブース番号
1-S12

展示テーマ、内容
[省エネ・省人化・省力化につながる厨房機器&防災対応機器のご提案]
日本調理機の「総合提案力」をお伝えできるような実演展示をいたします。
省エネ大賞を受賞した洗浄機の実演やシェフをお招きしたスチコンの調理実演など行います。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

日頃の案内状▶こちら
HCJ公式HP▶こちら

